



# いわいずみ



P2 身近な議会であるために。

P4 子どもたちの声が響くまち

P8 畜産・酪農の支援強化

P10 コンビニで町税が支払い可能に

P14 町の考えを問う(史上最多11議員が一般質問)

家族  
大家族<sup>19</sup>

小川の中村<sup>ひろし</sup>廣さん8人家族  
です。孔明<sup>こうめい</sup>さん(盛岡工2年)  
は親元を離れ、野球部で甲子  
園を目指しています。末っ子  
の華菜<sup>はな</sup>さん(小川小3年)は、  
ひょうきんで明るい家族の  
ムードメーカーです。



## 特集

# 身近な議会であるために。

議会は平成24年11月に、議会改革の一環で「地域に向き、直接町民の皆さんの声を聴く」ことを目的に「議員と語る会」を始めました。ここでは、議会改革の経緯をたどり、皆さんの声で議会が動き、町の施策として実現した主なものを取り上げて紹介します。

町民に身近な議会であるために、議会はこれからも皆さんの元へ出向いて行きます。

### ◆議会改革の始まり

平成12年4月に地方分権一括法(※)が施行され、国から地方への権限移譲が進みました。このことで地方議会は、町民への説明責任を果たす役割が強くなりました。

本町議会も議会改革を進めるため、特別委員会を立ち上げ、議会報告会の開催や議会基本条例の制定などを検討してきました。

### ◆議会基本条例の制定

町民の民意を反映した「開かれた議会」を目指し27年3月、岩泉町議会基本条例を制定しました。

同条例第11条では「町民との意見交換会を少なくとも年1回開催しなければならない」と規定し、議員と語る会を明文化しました。

### 議会基本条例



画面上部の「PC版で表示する」をタップ

### ◆1201人の声

議員と語る会は、7年間で24回行いました。各地区(岩泉、小川、大川、小本、安家、有苜)での開催の他、農業や林業従事者、中高生、子育て世帯など延べ1201人の声を聴き、町の施策に反映してきました。



## 皆さんの声で実現した施策

### 高性能林業機械の導入に補助を

(H26年6月・林業者)

28年度から高性能林業機械(※)の購入に2分の1を補助。元年度からリース料の3分の1を補助しています。



高性能林業機械 プロセッサ

### 防災リーダーを設置すべき

(H29年6月・全地区)

30年度に防災担当の危機管理監を設置。3年間で防災士200人の養成を目指し、資格取得に支援を行います。



防災士養成講座。議員も取得済み

### 捕獲した有害鳥獣の処理負担の軽減を

(H30年6月・大川)

元年度、捕獲した有害鳥獣の一時保管庫を整備しました。



整備された保管庫

### WiFi環境が整った施設の拡充を

(H29年6月・高校生)

役場(各支所)、町民会館、図書館、龍泉洞や道の駅に随時整備しています。2年度はふれあいランド岩泉のコテージやトラレーハウスに整備します。



Wi-Fiを整備するコテージ

### 小川に放課後児童クラブを設置してほしい

(H30年6月・小川)

30年12月定例会で児童クラブの開設に向けた補正予算を可決。31年4月、小川生活改善センター内に小川地区放課後児童クラブが開設されました。



仲良く勉強中の児童クラブの子どもたち

### 施設整備や機械の導入に町のかさ上げ補助を

(R元年6月・酪農家)

2年度から国庫補助を受けて施設などを整備する際、町単独のかさ上げ補助を実施します。【関連8・26頁】



機械導入で省力化を 自動給餌機

## 議会への提言

議会会議録



### 特別委員会の会議録も図書館で閲覧できるようにすべき

(H29年6月・全地区)

30年度から、新年度予算・決算・条例補正予算の特別委員会の会議録を町立図書館(各支所の図書室含む)で閲覧できるようにしました。

### 議会の会議録を町ホームページに掲載すべき

(H30年6月・小本)

定例会と特別委員会の会議録を30年6月分から町ホームページで公開しています。2年第1回定例会の会議録は、5月下旬ごろ掲載予定です。

## まちの声



赤須賀 香織さん (安家・38歳)

5年前に「女性議会」で議長をしました。議員と語る会は、いつも興味を持っていますが、夜の開催にはなかなか参加できません。もっと身近に参加できる仕組みがほしいです。

## まちの声



岸岡 健太さん (岩泉・32歳)

議会だよりは、毎号欠かさず読んでいます。議員の活動内容を知ることができますし、町民の声が施策に反映されていると思います。さらに身近な議会になることを願っています。

(※) 作業の効率化や労働力の軽減が図られる林業機械

(※) 地方の裁量を増やし、国の管理を少なくするために作られた法律です

# 子どもたちの 声が響くまち

議員と語る会 No. 23



子どもたちも一緒に和やかな雰囲気で行われた子育て世帯との語る会

総務常任委員会（坂本委員長）は2月2日、子育てにスポットをあて、元気に遊ぶ子どもたちの声が響くまちを目指して、子育て世帯を対象とした議員と語る会を開催しました。

日曜日の午前中、子育て中の皆さんに参加していただきました。子どもたちも一緒に、和やかな雰囲気で見聞交換を行いました。子育て支援は十分なのか。必要な支援は何か。多くの生の声を聴きました。

◆小児科や耳鼻科など診療科の充実を  
子どもへの急な発熱の時など、町に小児科医がいらないのが不安です。常勤医師の確保をお願いします。

小児科や医師の確保は、いつも要望しています。県内も含めて医師の確保が難しい状況にあります。

◆病児・病後児保育の設置を  
病児・病後児保育の設置を強く望みます。子どもがインフルエンザに罹患したとき、1週間仕事を休まなければならず大変です。

一般質問を行ったことがありますが前向きな回答ではなかったです。今回の意見を踏まえて、再度、提言していきます。

◆遊ぶ場所や公園が少ない  
子どもたちの遊ぶ場所や公園が少ないです。小学生から高校生の放課後や休日の居場所づくりも必要と感じています。

議会も公園の要望をしています。町の答えは「台風災害の復旧・復興が完了してから計画する」でした。再度、町に訴えていきます。

◆英語検定料の補助を小学生にも【関連18ページ】  
英語検定料の補助を中学生のほか、小学生にも拡充してほしい。

小学校で英語の授業が始まります。町に補助制度を提案します。

◆住宅施策の充実を【関連16・21ページ】  
子育て世帯や新婚世帯の住宅事情が悪いです。住宅施策の充実をお願いします。

若者の定住や移住者確保の観点からも住宅施策は重要だと考えています。

◆町の情報をこども園に掲示しては  
子育て支援の情報や町の情報をこども園の掲示板に掲示してほしいです。

町の情報を子育て世帯に見てもらえる一番いい方法だと思えます。町に提言します。



## 参加者の声



佐藤 ひとみさん (岩泉)

自分の考えていたことを気軽に話すことができました。今まで遠い存在だった議会や議員さんが、身近なものだと感じることができ、とても有意義な機会でした。



高舘 めぐみさん (安家)

今回語る会に参加して、町の出産・子育て支援制度にはいろいろあり、手厚いと感じました。今後は、支援制度の対象者が分かるように情報発信を強化してほしいです。



佐藤 真美さん (岩泉)

若い世代は家を作りたいと思っている人が多いので、詳しい不動産情報がほしいです。町外に出ていけないよう住宅取得の補助制度を早く作って応援してください。



千田 由樹さん (岩泉)

普段感じている子育てに関する意見、要望を伝えることができて良かったです。町では、子育て支援の充実度が上がるよう、環境の整備に力を入れてほしいです。



上日向 荘子さん (安家)

とても有意義な語る会でした。安家地区の町民バスの待ち時間が長いので、接続をスムーズにしてほしいです。通院する高齢者が利用しやすくなると思います。



三上 裕美子さん (岩泉)

議員の皆さんからは、町民のニーズに寄り添う姿勢が見え、ありがたいと感じました。とても有意義な会でした。さらなる「子育てしやすい町 岩泉」を期待しています。

次は、短角牛の誇りを守り育てる

# 希望の花咲く いわいずみ

2年第一回定例会は、2月13日から3月10日までの27日間の会期で開かれました。中居健一町長の施政方針では、2年度からスタートする7年間の新しい総合計画「岩泉町未来づくりプラン」希望の大地から未来の花咲く「いわいずみ」の3つの花の基本目標ごとに主要施策が示されました。3月末で退任する2人の副町長の後任に、佐々木宏幸さんを選任することに同意。教育長には三上潤さんの再任に同意し、選挙管理委員の選挙では4人の委員を選出しました。



町長施政方針演述

## 7年間の

## 未来づくりプラン

### なりわいの花づくり

- \*農業の担い手確保策  
新規就農者の種子や苗の購入費に支援（畑ワサビやニンジンなど）
- \*商工業の振興  
中小企業・小規模企業振興計画を策定
- \*龍泉洞の再整備  
園地内の環境整備を順次実施



### 暮らしの花づくり

- \*防災力の強化  
避難所備品の充実や防災士の育成【関連 18頁】
- \*住民参加のまちづくり  
町民の地域づくりのアイデアの実践に支援
- \*住宅施策の改善  
町営住宅の入居要件の緩和や制度の見直しを実施【関連 16・21頁】



### 生きがいの花づくり

- \*子育て支援  
こども園副食費（※）の無償化を検討【関連 16頁】
- \*高齢者への支援  
ぴーちゃんねっとで高齢者の見守り対策
- \*教育環境の充実  
4月から岩泉高校へ学校給食を配食【関連 26頁】



### 選挙管理委員4人を選出

任期満了に伴う町選挙管理委員の選挙を行いました。選挙の結果、八重樫ケイ子さん（小川・72歳）、佐々木和子さん（大川・69歳）、阿部佳史さん（小本・68歳）、植村敏幸さん（岩泉・63歳）が当選しました。任期は、3月5日から4年間です。（掲載は、年齢順）



### 教育長の再任に同意



町の教育長に三上潤さん（岩泉・69歳）を再任することに同意しました。任期は4月1日から3年間です。

### 副町長の選任に同意



副町長に県市町村課主任主査の佐々木宏幸さん（盛岡市・48歳）を任命することに同意しました。任期は4月1日から4年間です。

※佐々木副町長の略歴は広報いわいずみ4月号をご覧ください。



議員と語る会 No.24

# 短角牛の誇りを 守り育てる



産業常任委員会（三田地久志委員長）は2月5日、短角牛飼養農家と「議員と語る会」を開催しました。本町の特産品である短角牛が生産量、飼養農家数ともに減少してきています。短角牛のふるさとである誇りを守り、育てるために抜本的改革が迫られています。参加された皆さんの声と議員の考えをお伝えします。



合砂 哲夫さん（安家）

増頭のための導入補助金を要請したい。



佐藤 春雄さん（大川）

後継者対策を広い視野で考えるべきだ。



佐藤 純さん（大川）

増頭対策が急務と考える。10年後を見据えた投資を。



佐々木 久任さん（大川）

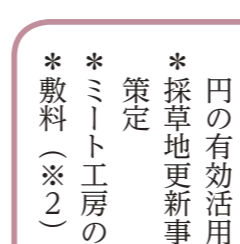
繁殖、肥育、販売の一貫生産体制の構築が急務だ。



佐藤 安美さん（大川）

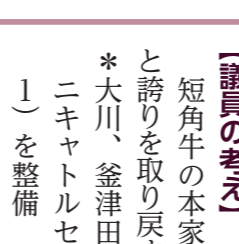
短角牛のブランド化に力を注ぐべきだ。

## 急げ 短角牛の増頭対策



三好 秀美さん（安家）

放牧地の監視人が高齢化している。対策が必要だ。



佐々木 松郎さん（大川）

採草地の更新費用の支援をしてほしい。



畠山 利勝さん（大川）

台風10号で被災したミート工場の再建を。

（※1）牛を一括管理する施設  
（※2）牛の寝床に敷く、おがくずなど



**ますの声**

ドームの管理人をしています。屋根から積もった雪が雪崩のように落ちてきて、子どもたちが幾度か危険な思いをしていました。雪止めが設置されると一安心です。

坂下 くにさん (岩泉・65歳)

# 畜産・酪農の支援強化

## 発祥地の灯を消さぬよう

2年度の一一般会計、6特別会計と水道事業会計を合わせた当初予算は、新年度予算審査特別委員会で審査し、3月10日の本会議において全会一致で可決しました。「特別委員会の主な質疑は10頁」

**一一般会計の当初予算額**  
101億3700万円

前年度比7億9300万円の減

8会計の予算総額は、143億4005万円。うち一一般会計は101億3700万円。前年度から7億9300万円の減（7.3%減）となりました。畜産・酪農家への支援強化として、施設や設備整備に必要な経費の補助や日本短角種の牧頭数維持支援など、議会の提言や町民の皆さんの声が施策に反映されました。「関連 17・26頁」

本町は、日本短角種と岩手酪農の発祥地。灯を消さない取り組みが始まります。ここでは、2年度予算の主な事業と概要をピックアップしてお知らせします。

**おしえてぴーちゃん**

◇財政用語の解説◇

**【地方交付税】**  
町の財政力に応じて国から交付されるお金

**【国庫・県支出金】**  
町が行う事業に対して国・県から補助されるお金

**【町債】**  
事業の財源に充てるため国などから借入れたお金

**【人件費】**  
職員の給与

**【扶助費】**  
児童手当や医療費の助成

**【公債費】**  
事業を行うときに借入れたお金の返済金

**【物件費】**  
旅費や消耗品費

**【維持補修費】**  
公共施設の維持・管理費

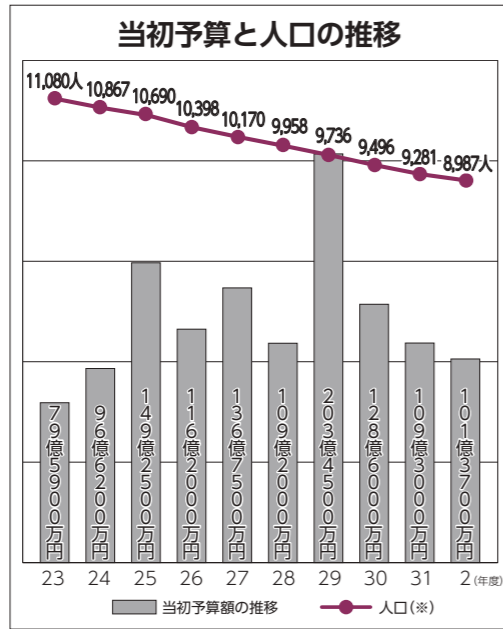
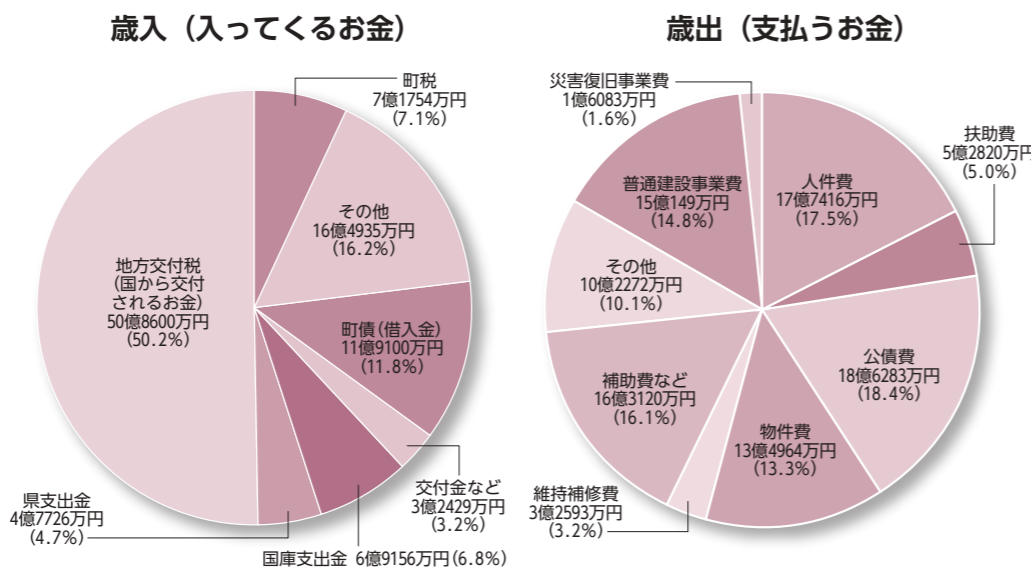
**【補助費】**  
補助金や交付金など

**【普通建設事業費】**  
道路や学校などの建設費

**【災害復旧事業費】**  
自然災害などで壊れた公共施設を復旧する費用

当初予算の概要

### 一一般会計 101 億 3700 万円の内訳



**2年度 各会計の当初予算額**

会計名	予算額	伸び率
一 般 会 計	101億3700万円	△7.3%
国民健康保険	事業 12億1850万円 (1.1%)	
	診療施設 4140万円 (6.4%)	
後 期 高 齢 者 医 療	1億2120万円 (5.9%)	
特 別 会 計	事業 15億9710万円 (3.4%)	
介護 保 険	サービス事業 1110万円 (2.8%)	
簡 易 水 道	-	皆減
観 光 事 業	2億1280万円 (2.7%)	
公 共 下 水 道 事 業	2億5180万円 (38.4%)	
大 川 財 産 区	800万円 (66.7%)	
合 計	135億9890万円	△8.1%
水道事業 (公営企業会計)	7億4115万円	皆増



**おしえてぴーちゃん** なぜ発祥の地?

日本短角種は岩泉地域において明治4年、南部牛とアメリカから輸入されたショートホーン種を交配したのが始まりで、昭和32年に日本短角種として認定されました。ホルスタイン種は明治20年代、岩手県で初めて岩泉町と葛巻町に導入されたのが始まりとされています。

**ますの声**

母校であり、子どもたちが通っていた小川小が閉校になり寂しいです。これからもみんなが楽しく集まれて、他の皆さんも受け入れられる施設になることを望みます。

工藤 久子さん (小川・41歳)



**ますの声**

短角牛と黒毛和牛の繁殖を89頭飼っています。畜産・酪農の再構築に向けた強化を進めることは心強く感じます。取り急ぎは、畜産ヘルパー(※)制度があればいいと思っています。

石橋 義隆さん (大川・33歳)

(※) 人口は各年度の4月1日です。

(※) 畜産酪農家が休みを取る際、代わりに餌やりなどの仕事をする人

# コンビニで町税 が支払い可能に 3年度から ゆうちょ銀行も



新年度予算審査特別委員会(三田地泰正委員長)は、3月5日から10日までの4日間(7・8日は休会)開かれました。  
総合収納システムの導入事業や廃校施設の活用調査事業などの新規事業が提案され、慎重に審査しました。  
ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

## 金 総合収納システムの目的は 税 利便性向上と事務の効率化

**問** 総合収納システム導入の目的は。

と補助金と手数料の経費が二重になるのではないかと。

**答** コンビニやゆうちょ銀行窓口で町税などを支払うことが可能となる。住民の利便性の向上と事務の効率化が目的である。

**問** 維持管理費はいくらかかるのか。

**答** 年間約850万円を見込んでいます。

**問** 納税貯蓄組合がコンビニで納付する

**答** 二重にならないように、役場で納めてもらうようお願いする。

### 事業の概要

2年度にシステム改修や運用テストを行い、3年度から次の町税などがコンビニやゆうちょ銀行で支払いが可能になります。  
\*町税(固定資産税や軽自動車税など)  
\*こども園の保育料  
\*上下水道料 など

### ますの声

他の市町村では、コンビニ収納を導入しているところもあり、便利でいいなと感じていました。本町でも令和3年度から導入予定と知り、納税者は大変楽になると思います。



石黒 睦子さん (岩泉・55歳)

### ますの声

コンビニやゆうちょで納めることができるのは便利ですね。前からそうならなかなと思っていました。今までより時間を気にしなくてもいいので、利用したいと思います。



佐々木 功さん (小本・54歳)

## 廃校 調査対象の廃校施設は 小川小の他7校を予定



本年3月末で閉校した小川小学校

**問** 利活用調査対象となる廃校施設は、小川小の他はどこか。

**答** 大平小中、国見小、浅内小、大川中、大牛内分校の7校を予定している。

**問** 調査費の配分は。

**答** 約半分が、小川小の図面調整や概算事業費の積算。残りが7校の現況確認と活用案の提案である。

**問** 他の廃校施設も調査、企画、提案が整ったならば青写真を示されるのか。

**答** 委託業者から活用案が示されてから精査検討し、活用が見込まれれば青写真を提案していく。

**問** 廃校舎も含め、町有の遊休施設を一体的に管理すべきではないか。

**答** 体制づくりを総合的に検討していく。

## 光 ユーチューブ配信の効果は 観 視聴回数は1万3303回

**問** SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)の時代である。ユーチューブを活用した観光PRを行っているが効果はどうか。

**答** 30年度に10本の動画をユーチューブ

に配信した。視聴回数は1万3303回である。今後は、ドローン(小型無人機)で撮影した町内の景色を配信する予定である。



ユーチューブ 岩泉町公式チャンネル

## 会 タブレット導入時期は 議 なるべく早く導入する

**問** 議会でのタブレット導入が計画されている。導入時期は。

**答** 新年度早々に準備を進め、なるべく早く導入する。

**問** タブレット導入と同時にペーパーレス化するのか。



議会もペーパーレス化へ

**答** できるだけ早く実施したい。議会と相談しながら進める。

**問** 短角牛肉の販売対策として、成分分析はどうか。

**答** 短角牛肉のアミノ酸が多い特徴を前面に出していくことは大切と考えている。成分分析は今後検討していく。

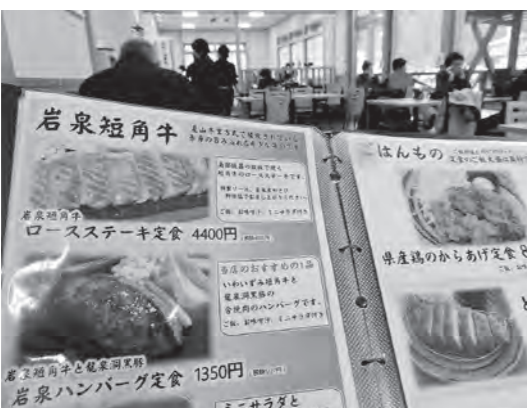
**問** 道の駅のレストラで、短角牛肉のメニューを増やすべきではないか。

**答** 本町ならではの食材をホテルや道の駅で提供できるように取り組んでいく。

**答** 運営会社と相談する。一次産業と観光産業を連動させて町が発展していけるよう取り組んでいく。

**問** 町で獲れた魚やマツタケなど旬の食材も道の駅で提供すべきではないか。

## 産 道の駅で短角牛肉を 業 運営会社と相談する



道の駅では多くの地元食材の提供を

議決された議案の一覧は町のホームページで確認できます。



# 学校に無線LANを整備



条例補正予算等審査特別委員会（三田地和彦委員長）は2月25・26日、付託された条例や補正予算などを慎重に審査しました。

町内の小中学校に無線LANの環境を整備する6120万円の補正予算や中学校卒業まで、医療費の現物給付（※13歳）を拡充する条例改正など議案全てを原案のとおり可決すべきものと決定。26日の本会議において全会一致で可決しました。

ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの質疑を要約してお伝えします。

## 育 育 育 端末の導入時期は 5年度までに整備

**問** 小中学校の校内通信ネットワーク整備事業の内容は。

**答** 統合する学校を除く11校（小学校7校、中学校4校）に高速インターネットと無線LAN（※）の環境を整える工事を行うものである。

**問** 児童生徒に1人1台のコンピュータ端末を配備する計画だが、導入時期は。

**答** 国の財源措置の詳細が未定の部分もある。動向を見ながら、5年度までに整備する予定である。

**問** 現時点でのコンピュータ端末の導入台数の見込みは。

**答** 現在の児童生徒数は約500人である。各学校1クラス分はすでに整備済みのため、差し引いた台数を精査して整備する。

**ますの声**

今もパソコンを使った授業をしています。タブレットになれば、さらに勉強するのが楽しくなりそうです。ちょっと苦手な英語や興味があるものを調べられるので役立つと思います。

竹花 真穂さん  
（小川・14歳）

**おしえてぴーちゃん**

（※）無線LANとは？

ケーブルがなくてもインターネットに接続できるシステムのこと。その規格の中にWi-Fi（ワイファイ）があります。

## 復 旧 三鉄の復旧費用は 19億9000万円

**問** 台風19号で被害を受けた三陸鉄道の災害復旧総事業費はいくらか。

**答** 総事業費は19億9000万円となっている。

**問** 本町の負担率はいくらか。

**答** 国や県の負担の他、沿線市町村の人口や駅数などの案分により、本町の負担率は、4.9%（※）である。



三鉄の復旧は沿線住民の活力です

## 観 光 コロナウイルスの対応は アルコール消毒液を設置



感染防止対策の徹底を図っている龍泉洞

**問** 新型コロナウイルスによる龍泉洞での観光客への対応は。

**答** 全てのトイレの点検やアルコール消毒液の設置などを行っている。

**問** スタッフの感染防止対策には万全を期すべきだ。現状と今後の対策は。

**答** スタッフの健康管理は、観光センサーを含め、手洗いやうがい、アルコール消

毒の徹底を行っている。十分な休養と栄養を取り、個人の免疫力を高めるようにしている。

**問** 観光バスの運転手や添乗員からの感染拡大が懸念されている。対応はどのようにしているのか。

**答** 龍泉洞は、遠方からのお客様も多い。窓口は、ガラス戸越しのため一定の距離を持って対応している。改札員は、マスクを着用している。

**ますの声**

龍泉洞では、コロナ関連の影響で団体客のキャンセルが相次いでいます。しかし、若い個人客が例年より多い気がします。観光シーズンに向けて早期の終息を願っています。

佐々木 里美さん  
（岩泉・42歳）

**ますの声**

小学生と中学生の子どもがいます。医療費の現物給付が中学生まで拡大するのはうれしいです。子育てしやすい町の環境づくりが大事だと思います。

長崎 千寿子さん  
（大川・42歳）

## 子育て 医療費の増額見込みは 30万円を見込んでいる

**問** 条例改正により、本年8月1日から中学校卒業まで医療費の現物給付が拡充される。対象者数と医療費の増額見込みは。

**答** 対象者は184人増額は30万円程度と見込んでいる。

**おしえてぴーちゃん**

（※）医療費の現物給付とは？

病院を受診した際、世帯の所得に応じて、窓口での支払いが無料か少額になること。今までは小学生までが対象でした。

（※）負担額は、2444万円です。

一般質問



町の考えを問う



一般質問全文は町ホームページで公開しています。

史上最多  
11人の議員が登壇

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。

3月定例会では、60年を超える町政史上最多の14人中11人の議員が登壇し、町政に提言や質問を行いました。ここでは、質問と答弁を要約した内容（15ページから25ページ）を登壇順（質問順）にお知らせします。

- 坂本 昇 議員 (15ページ)**
  - 未来づくりプランの検証は
  - 健康づくりの推進強化を
- 畠山 昌典 議員 (16ページ)**
  - 保育料などの完全無償化を
  - ニーズに即した住宅施策を
- 畠山 和英 議員 (17ページ)**
  - 短角牛の課題解決は
  - 地方創生戦略の進め方は
- 八重樫龍介 議員 (18ページ)**
  - 英検の支援拡充を
  - 交流学习の回数増を
  - 避難所の改善と機能強化を
- 三田地久志 議員 (19ページ)**
  - 農業振興に外部の目を
- 合砂 丈司 議員 (20ページ)**
  - 安家複合施設の有効活用を
  - 安家に道の駅の整備を
- 三田地和彦 議員 (21ページ)**
  - 前向きな住宅対策を
- 小松ひとみ 議員 (22ページ)**
  - 商店街に交流拠点施設を
  - 顔の見えるマップづくりを
- 林崎竟次郎 議員 (23ページ)**
  - 補聴器購入に補助を
  - 健診受診料の無料化を
  - 子どもの均等割り減免を
- 野館 泰喜 議員 (24ページ)**
  - 人口減対策に本腰を
  - 抜本的な遊休農地対策を
- 三田地泰正 議員 (25ページ)**
  - 人・農地プランの展望は
  - 学校教育の課題は

問 未来づくりプランの検証は  
答 庁内全体で共有し改善する

問 岩泉町未来づくりプランは、いかに具現化し、実現、見える化に向けて推進していくかにかかっている。

進行管理のため、P D C A (計画・実施・評価・見直し) サイクルの中で、その実効性を検証していくとある。具体的な取り組み内容を示せ。

町長 本プランを実効

性のあるものとして推進していくためには、施策の効果を検証しながら「改善・改革」に努めていく必要がある。担当課レベルで各種

事業の効果検証や課題を整理し、その内容を庁内全体で共有しながら改善に向けて取り組んでいく。

問 検証にあたって、職員間でP D C Aサイ

クルを行うことは、職員力の向上や意識改革につながるが、町民の町政に対する期待も高まると考えるがどうか。

町長 職員間でP D C Aサイクルを行うことは、職員力の向上と意識改革にもつながる。効果的・効率的な進捗管理と実効性の検証に努めていく。検証の取り組み内容は、町総合開発審議会(※)に示し、意見を伺うなど新年度において多角的に検討しながら進めていく。

問 健康づくりの推進強化を  
答 健康目標値達成に努める

問 健康づくりや介護予防は、高齢者になつてからの予防策では後手になる。対応策として、特定健診受診率の向上や内臓脂肪症候群の割合の改善などを強力に推進すべきである。未来づくりプランに

町長 健康づくりは、医療費の抑制、健康寿命の延伸にもつながる重要な事項である。町が定めた健康目標値を達成するため、保健推進員の声掛けや「ピーちゃんねっと」の活用による健診日時などの周知徹底を図る。さらに、健診の未受診者を対象とした個別通知や保健師の訪問指導などを積極的に取り組んでいく。食生活改善推進員や保健推進員との協力体制を拡充し、生活習慣病の予防や改善に向けた普及啓発の取り組みを強化する。健康教室などの充実に努め、目標達成を図る。



坂本 昇 議員



町民総参加で未来づくりを

17文字のひとりごと

まちづくりが底力

(※) 町の総合計画などを策定する際、町長が意見を聴く機関





畠山 和英議員

**問** 日本短角牛の生産環境は、放牧頭数の維持拡大やキャトルセンター整備、台風で被災したミート工房の再建、短角牛交流イベントの再開など課題が山積している。どう取り組む考えか。

**町長** 新年度には、各生産組合の飼養頭数を維持拡大するため、家畜導入や自家保留※

1) への支援を行う。中長期的な事業実施は、畜産クラスター※2) 事業などの支援制度の導入も含め、関係機関や団体、生産者と検討を重ねていく。

**問** 国では、本年度の補正予算の総合経済対策に、和牛などの増産増産対策事業が組まれている。事業導入できないか。



短角牛キャトルセンターの整備が待たれる

## 問 短角牛の課題解決は 答 家畜導入などへ支援

**農林水産課長** 日本短角種や黒毛和種などが対象となる。増頭した場合、1頭当たり24万6千円の支援が受けられる。

この補助事業と町の新規単独事業を活用

**問** 冬期に繁殖牛を共同管理するキャトルセンターを整備する時期にきていると考えるがどうか。

**農林水産課長** キャトルセンター構想は、計画に位置付けていない。地域の人と話し合いながら事業を検討、研究していく。

## 問 保育料などの完全無償化を 答 副食費は10月に無償化する



畠山 昌典議員



未来を担う子どもたちは町の宝です

**問** 本町が抱える問題のひとつに少子化がある。町は、今までもさまざまな子育て支援施策を展開してきた。他の自治体では、国の「幼児教育・保育の無償化」をさらに発展させた支援を打ち出し

ているところもある。本町も、国の制度より補助対象を拡大した支援をしているが、さらなる支援として、子ども園の保育料と副食費の完全無償化を提案する。

子育て世帯の負担軽減を図ることで、子どもを安心して育てられる環境整備がさらに進むと考えるがどうか。

**町長** 保育料や副食費の完全無償化は、子育て世帯の経済的負担軽減が図られ、子育て環境改善の一助になると認識している。

子育て支援を拡充するため、本年10月に3歳児から5歳児の副食費を無償化することで準備を進めている。実施に当たっては、民営保育所との差が生じないように配慮する。

0歳児から2歳児の保育料無償化には、保育士確保などの課題がある。今後、検討していく。

## 問 ニーズに即した住宅施策を 答 窓口を一元化して対応する

**問** 町は、子育て応援住宅の整備など必要に応じた住宅対策を展開してきた。子育て応援住宅の募集には、2倍以上の希望者が申し込むなど、十分に足りていないと言えないか。

子育て世帯の定住・移住は、町の未来の担い手の育成につながる。多様なニーズに対応できる施策や住宅などの整備が必要と考えるがどうか。

フォーム補助などの住宅対策を展開している。町のホームページでは、民間のアパート情報の提供などを進めている。

新年度は、住宅施策を地域整備課に一元化する。町営住宅入居基準の緩和や宅地分譲などの定住・移住を推進する。多様なニーズに対応できるよう取り組んでいく。



町ホームページ アパート情報

17文字のひとりごと

その先の溢れる笑顔 つなぐため

## 問 地方創生戦略の進め方は 答 有利な財源の活用を図る

**問** 町の新総合計画「未来づくりプラン」では、2025年に人口の社会増減をゼロにするとしている。目標達成に向けてどう取り組む考えか。

**町長** 地方創生交付金事業など、国や県の制度上、有利な財源をうまく活用できるよう、さまざまな要件を勘案しながら、調査検討を進めていく。

**町長** 2025年以降の人口の社会増減ゼロにするため、魅力ある居住環境の整備を始めとする6つの重点プロジェクトを中心に総合的に取り組んでいく。

**問** 地方創生を促進するため、内閣府では交付金制度が生まれ、関係省庁においてもさまざまな支援メニューがある。計画を有効なものにするため、交付金事業に積極果敢に挑戦し地方創生を図るべきと考えるがどうか。

17文字のひとりごと

復興から地方創生 期待され

(※1) 自分の家で生まれた雌の子牛を市場販売せず、母牛にするため残す牛のこと  
(※2) 畜産農家と地域で高収益型の畜産を実現するための体制



三田地久志議員

**問** 農業は日本の食卓を支える重要な役割を担っている。日本の農業の現状や課題に対して、より詳しい人材を広く情報収集する必要はある。

**答** 農地を放棄しているのが現状である。大規模化も農地中間管理機構が整備され、一定の成果を上げてはいるが、中山間地では限界である。町長は施政方針で、農業の担い手確保対策として新規就業支援種子や苗の購入費支援、農地中間管理事業(※)の活用などを挙げている。しかし、いま必要

な行政運営は、内部・外部の目をいかに活用できるかである。生産から流通、消費までを外部の人材や町民の皆さんに参加していただき、ワークショップなどで提言を受け入れるべきではないかと思うがどうか。

**町長** 農業振興策は、高齢化による離農、後継者の問題などさまざまな要因により農業の就業人口は減少し、大変厳しい状況が続いている。町の農業も全国と同様に農家人口や家畜飼養頭数が減少し、耕作放棄地も増加している状況にある。このような状況の中で、全国の先駆的、実

践的な成功事例から学ぶことは多く、新たな発想による施策は、農業振興による地域の活性化に結びつくものである。

**議員提言の内部や外部からの視点、外部人材、町民参加のワークショップの開催などは、ぜひとも、取り入れていかなければならないと感じている。** 新年度から予定している「人・農地プランの実質化」の取り組みによる集落の人との話し合いが、魅力ある農業づくりを地域全体で考える第一歩と捉えている。

17文字のひとりごと  
農業の振興策こそまちづくり



放棄地こそ有機農業への近道

(※) 農地の集約化などを行うこと

## 問 農業振興に外部の目を 答 解決手段として生かす

## 問 英検の支援拡充を

## 答 前向きに取り組む



八重樫龍介議員

**問** 本町では、中学生を対象に英語検定料金の支援制度がある。2年度から外国語教育が導入される小学生にも支援を拡充すべきと考えるがどうか。

**教育長** 学習意欲を持ち、前に進もうとする児童を応援するため、小学生への英語検定の受験支援は、前向きに取り組んでいく。

**交流学習の回数増を機会を増やしていく**

**問** 小規模校は、集団の中で多様な考え方に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する

機会が少ない。現在行われている交流学習の回数を増やすなどの対策をすべきと思うがどうか。

**教育長** 小規模校にとってかけがえのない交流の機会を集合学習

として提供することは重要と認識している。少人数児童の学校では、日常の学習に加えコミュニケーションや触れ合い活動に重きを置き、他校との交流の機会を増やすよう支援していく。



小学校で外国語教育が始まっています

## 問 避難所改善と機能強化を 答 避難者の負担軽減を図る

**問** 災害時の避難所の改善・機能の強化が急務と思うがどうか。

**町長** 避難所の機能強化や環境改善は必要と認識している。

プライベート確保のための備品やエアーマット、段ボールベッドなどの避難所用備品を整備している。

今後も、長期避難生活を考慮し、避難者の負担軽減が図られるよう取り組んでいく。

住宅として、平時はふれあい岩泉や龍泉洞園地などで活用する考えはないか。

**町長** トレーラーハウスの搬入には、専用のけん引車が必要である。本町の地形では、災害時に道路などの決壊で通行止めが発生した場合、搬入路が限られる可能性があり迅速な搬入が困難になることが想定される。

**問** 短期間で設置可能なトレーラーハウスを災害時は避難所や仮設

は、災害時のほか、さまざまな方面での活用が見込まれる。今後、調査・研究していく。

17文字のひとりごと  
子どもたちが語学身に付け 大海へ



三田地和彦議員

問 当町では、住宅対策を以前から行ってきており、私も認めるところである。特に災害時における住宅対策には頭が下がる。

現在、町で管理する住宅は、教員住宅を除き合計300戸である。内訳は、公営住宅法に基づく住宅が276戸、定住促進住宅12戸、子育て応援住宅12戸である。

### 問 前向きな住宅対策を 答 宅地の分譲を進める

入居者は全部で542人。1戸当たり平均約1.8人である。町管理住宅にも人口減少、高齢化の波が押し寄せている。町の一番の問題である人口減少や後継者・各事業の担い手対策には、住宅施策が一番と考えている。国は「地方創生、人口減少は地方から立て直そう」としているが、末端にま

では良案（対策予算）が行き届いていない。さらに、最近の災害で古里を後にした人など人口減少が続いている。宮城県七ヶ宿町では、今まで、私が質問してきた内容とあまり変わらない住宅施策「地域担い手づくり支援住宅」を行っている。私は、今年の1月14日に直接出向き、内容（別表参照）と実績を確認してきた。実績は、5年間で10世帯40人であり、新年度も2世帯の募集を計画している。本町においても人口減少や後継者・各事業の担い手対策の一環として、前向きな住宅対策を早急に行うべきと考えるがどうか。

**七ヶ宿町地域担い手づくり支援住宅の概要**

- 木造2階建
- 延べ床面積 125㎡以下
- 敷地面積 300㎡程度
- 家賃 月額3万5千円
- 敷金 月額家賃の3カ月分
- 入居の資格 七ヶ宿町外に在住する人で、子どもがいる概ね40歳までの人
- 特徴 20年入居すれば、住宅と土地を入居者に譲渡できる。



人口減少や後継者対策には住宅施策が重要

### 問 安家複合施設の有効活用を

### 答 さまざまな地域活動に活用



合砂 丈司議員

問 安家地区複合施設は、現在の支所や消防屯所、診療所などが集約整備され、地域住民の利便性が向上する。施設整備に合わせ、ソフト面の施策を充実させることが、地域の活性化を図るうえで重要である。

町長 安家地区複合施設は、さまざまな地域活動に有効活用が期待できる。加えて、近年の大災害を教訓とし、備蓄倉庫や非常用電源設備などを備え、避難者の負担を軽減させる機能を持つ避難施設にもなっている。地域の活性化や防災拠点として、地域において幅広く活用することが重要と考えている。適正な管理ができ



地域の拠点に 建設中の安家複合施設

人員配置を行うなどソフト面の充実も図っていく。複合施設が「地域での交流の場」「健康づくりの場」「生きがい活動」などの活動拠点として、地域の和を広げる場となり、地域の団体のみならず、高齢者関係の事業所なども巻き込みデイサービスのな取り組みの場ともなるよう、町も一緒に取り組んでいく。

### 問 安家に道の駅の整備を 答 クリアすべき課題多い

問 本町には、国道455号沿いに2つの「道の駅」が整備されている。道の駅では、観光案内や地域の特産物販売などにより、交流人口の拡大と地域振興が図られている。

町長 道の駅の整備は、十分な駐車場用地の確保や財源の問題、道路管理者との調整などクリアすべき課題が多い。道の駅に類似する施設として、地域から要望があった産直施設の整備は、町として、災害からの復旧復興の観点から支援していく。これまでの議論なども検証しつつ、いかに賑わいのある地域を創出できるか復旧の先を見据え、共に知恵を出し合いながら実現に向け取り組んでいく。

**17文字のひとりこと**

新たななる  
複合施設で  
希望の春

活用していく。来年度から住宅対策などの居住環境政策は、地域整備課に一元化し取り組んでいく。まずは、町営住宅の入居基準の緩和や住宅用

地の分譲を進める。他市町村の住宅対策の状況などは、視察や研修も重ね、併せて財源・手法も研究しながら新たな住宅対策に取り組んでいく。

**17文字のひとりこと**

次世代の家を持つ夢  
かなえたし



林崎 寛次郎 議員

**問** 加齢性難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にする。  
補聴器の平均価格は15万円と高額で「高く買えない」との声も上がる。  
町で、高齢者の補聴器購入に補助を行うことで、生活の質を落とさず、心身とも健やかに過ごすことができるかと考えるがどうか。

**町長** 補聴器は、眼鏡や車いすを含む補装具の一つとして位置付けられている。  
来年度に、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定に向けたニーズ調査などを予定している。  
その中で高齢者の実態や必要なサービスなどを把握し、その見直しと併せて補聴器への補助も検討していく。

## 問 補聴器購入に補助を 答 補助を検討していく



健診受診率向上のためにも無料化を

**健診受診料の無料化を総合的に判断していく**  
**問** 岩手町では、平成30年度の特定健診受診率が60%という高さである。これを支えている一つが、各種健診(検診)料金の無料化制度だと考える。

**町長** 健診受診率を上げることは、病気の早期発見・早期治療により病気の重度化を防ぐ観点から大変重要なことと考える。受診料の無料化は、他市町村の動向や費用対効果などを総合的に調査研究した上で判断していく。

本町でも、健診受診率をあげること、医療費の抑制につながるため、特定健診や各種がん検診の受診料無料化の検討を始めるべきと考えるがどうか。

## 問 商店街に交流拠点施設を

## 答 必要性など調査研究する

**問** 向町にあった岩泉中央公民館は平成26年8月に閉館となった。図書館も併設し地域と密着した施設だった。今は、岩泉町民会館がその役割を担っているが、まちの中心地に施設が無くなったことの閉塞感が大きくなっている。  
「交流の場」の必要性が緊急の課題ではないかと感じている。ミニ公民館的な人が集い、寄り添う場所だ。地域コミュニティは交流、協力、つながりの強化をめざす大切なものである。  
うれいら商店街の空き店舗や空き家を活用

して、町づくりを担う拠点施設を整備する考えはないか。  
**町長** 少子高齢化の進展や核家族化、共働き家庭の増加などで地域の支えあい機能が低下している。  
「交流の場」は地域コミュニティの維持・強化に必要であると認識している。

町内各地に整備された集会所には、維持管理分の助成のほか、施設整備や改修などに基準額の9割を補助している。  
交流拠点施設は、うれいら商店街や関係する自治会、住民の意見を聴き、必要性や整備の意向など、どのような支援ができるのか調査研究していく。



小松ひとみ 議員



地域コミュニティの維持のため拠点施設の整備を望む

## 問 顔の見えるマップづくりを 答 自主防に作成を働きかける

**問** 少子高齢化や人口減少ではあるが、一方で、一人一人の顔が見える町ともいえる。  
町は台風災害後に地域防災計画を見直し、防災マップを作成した。住民が参画して作るもつと細やかな地域図が作成できないか。各戸の家族構成や年齢など、そこに至る道路の表示もあるものだ。  
個人情報保護の観点から公開するものではなく、地域力の把握や福祉に役立つものだ。  
各自主防災協議会に働きかけ、顔が見え、地域で共有できる住民マップを作成することを提

案するがどうか。  
**町長** 台風10号災害を教訓に、河川の洪水浸水区域を表示した防災マップを作成し、全世帯に配布した。  
小川と大川地区では地区独自の防災マップを作成している。  
家族構成や年齢などを表示したマップを行政が作成し、配布することは、個人情報保護の観点から難しい。  
防災の面から、地域で活用するマップを自主防災協議会や自治会が主体的に作成するよう、連携を図りながら働きかけていく。

## 問 子どもの均等割り減免を

## 答 子育て支援の観点で検討

もへの均等割りの減免を検討すべきと考えるがどうか。

**町長** 子育て世帯における国保税均等割の減免は、子育て支援の重要な視点の一つだと考えている。  
全国一律の制度として実施するよう国に働きかけている。子育て支援の観点から総合的に検討していく。

### その他の質問

**問** 令和元年度の国保税は、高いという悲鳴の声が多数あがった。  
全国知事会・市長会・町村会の提言でも国保税を協会けんぽの保険料並みにと求めている。  
宮古市に学び、子ども

- ◆ 気候非常事態宣言を被災者支援の在り方や考え方は
- ◆ ふれあいらんどの再整備は
- ◆ 高校卒業まで医療費助成を

17文字のひとりごと

補聴器で笑顔広げる  
コミュニティ

17文字のひとりごと

町の地図  
笑顔で知らせる  
幸せ度



三田地泰正議員

**問** 長年にわたり、農業就農人口、耕地面積も減少するなど農業生産構造の脆弱化が急速に進展している。行政やJA、関係機関は、一層の連携強化を図り「地域農業マスタープラン」の実質化と実践を促進すべきだ。今使われている農地を返すうちに、返す人に引き継いでいく「人・農地プラン」を

強力に推進することが重要だ。取り組みの現状と展望を示せ。

**町長** 「人・農地プラン」の取り組みの現状は、先行実施した地域を除き、町内在住の農地所有者にアンケート調査を行った。現在は、農業委員、農地最適化推進委員の協力を得ながら、アンケート回収率向上に努



先を見据えた農業の基盤づくりを

## 問 人・農地プランの展望は

### 答 農業基盤づくりに努める

めている。

このアンケート結果に基づき、耕作者の年齢や農地貸借の希望有

無などの情報を3月中旬ごろ地図に落とし込む予定である。

今後の展望は、より具体的な情報を地域の皆さまへ提供し、話し合いを重ねる。5年から10年先を見据えた担い手への農地の集約化や効率化対策など、より良い農業基盤づくりに努めていく。

## 問 人口減対策に本腰を

### 答 真正面から取り組む



野舘 泰喜議員

**問** 岩泉町未だ来づくりプランは、人口減少対策がメインテーマとなっている。その中で、出生率向上に関する施策が



子どもの笑顔があふれるまちづくりを

弱いのではないかと。議会では、数年前から「議会だより」の表紙に7人以上の大家族を掲載してきた。18回を数える。大家族を維持していることが町政運営に及ぼす影響を考えれば何らかの報奨制度があつていいのではないかと。

**町長** 人口減少対策にかかる大家族奨励制度は、一定の支援をしている。出産祝金として

第一子5万円、第二子7万円、第三子以降10万円を贈っている。こども園では、保育料と副食費を第三子以降は免除としている。全国では住宅取得やリフォーム、引っ越しなどへの助成の事例もある。大家族奨励制度への調査研究を進める。

**問** 社会減対策としてUターンの掘り起こしに全力を傾注するべきだ。

ふるさと回帰の希望者に就職、空き家、遊休農地などの情報を定期的に送付する取り組みはどうか。

**町長** Uターンの掘り起こしは、専用サイトの開設やSNSの活用で募集を行ってきた。このうち、本町からの情報提供を希望する人には空き家などの情報を直接提供している。今後も人口減少対策に真正面から取り組んでいく。

## 問 抜本的な遊休農地対策を

### 答 全国農地ナビを活用する

**問** 遊休農地対策として、農地中間管理事業を積極的に活用するとしている。

国のこの制度は、本町のように狭小地の点在する地形には不向きだ。この地に即した岩泉型の農地管理システムを導入する時期だ。

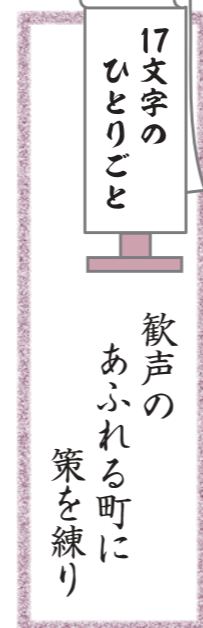
リストを作成し、利用者を募集するなど抜本的な対策が必要ではないか。

**町長** 遊休農地が増加していくことは否めない状況にある。農地の遊休地リストを作成し、利用者を募集して貸し出すことは、国でも、農地貸借の円滑化のため「全国農地ナビ」による農地検索システムを構築し、取り組み始めている。

本町も、個人情報の取り扱いなどの課題を検討し取り組んでいく。

#### その他の質問

- ◆職員力を高める具体的な道筋は
- ◆さらなる結婚対策を
- ◆畜産・酪農ヘルパーの拡充を
- ◆畜産クラスター事業を均等に



## 問 学校教育の課題は

### 答 課題は主に4項目

**問** 教員の長時間労働の深刻な実態や多忙さをどう改善するのか。

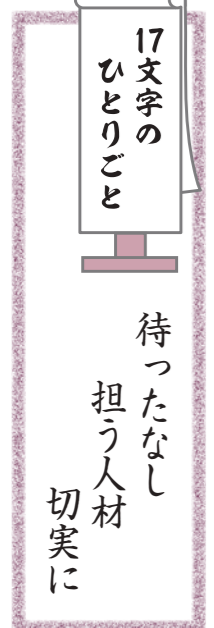
**教育長** 中学校の部活動指導は、休養日を設けることを徹底している。教職員の時間外労働の実態を把握し、効果的な改善策を見出し

**問** 新しい学習指導要領が完全実施される。対応状況を示せ。

**教育長** 各学校と連携を図りながら、一つの課題を早急に解決し、教育活動が円滑に進められるよう支援を行っている。

**問** 教育長が考える学校教育の課題は何か。

**教育長** 新年度の大きな項目としては「支援が必要な児童生徒への対応」本町の児童生徒の身体的な課題として「県平均と比較してやや高い傾向の肥満度」「小規模校への対応」「生徒数減少による中学校の部活動への対応」の4つを主要な課題と捉えている。



次は、どうなりやんしたあの提言

政や町民の意識改革が必要と感じました。受診率向上には、行

特定健診の受診率が60%以上 岩手町は全国で唯一、県、郡、町名が同じで、人口約1万3千人の町です。

総務常任委員会（坂本昇委員長）は1月30日、岩手町（佐々木光司町長）で、健診事業の取り組みと学童保育クラブの視察研修を行いました。

総務 健診の受診料自己負担なし

岩手町方式の健診体制



かつての職員室が児童のスペースに

「岩手町方式」の健診体制は、地域・行政・保健推進員・医療機関が一体となって進めています。特定健診やガン検診の受診料金は町が負担し、町民の自己負担はありません。

廃校舎を活用した学童保育クラブ

水堀学童保育クラブは、旧水堀小（平成30年3月閉校）の職員室を改修して利用しています。利用児童は、統合した沼宮内小からスクールバスでクラブに

質疑のその後

どうなりました... あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。



岩泉高校の生徒に給食を

H30年9月定例会 問 児童生徒数が減少している。現在の給食センターの施設規模で岩泉高校の生徒へ給食を提供できないか。

答 現在の職員体制や施設では、高校生への給食の提供は難しい。岩泉高校への支援の一つとして検討していく。

R元年9月定例会 問 岩泉高校生に、通学や大学進学への支援をしている。さらに魅力を高めるため、給食を提供できないか。

答 児童生徒数や配食学校数が減少したため、高校生への給食提供が可能となった。早期の実現に向けて取り組んでいく。

R2年3月定例会 4月から岩泉高校の生徒への給食提供がスタート。

産業 著しい施設の老朽化が課題



市場価格の低迷により経営が厳しい岩泉きのこ産業

産業常任委員会（三田地久志委員長）は1月23日、龍泉洞温泉ホテル、龍泉洞の水充填工場と岩泉きのこ産業を視察しました。

築40年以上が経過 龍泉洞温泉ホテルは、昭和52年4月にオープンし、建物などは築40年以上が経過しています。壁や調理室の老朽化が著しく、大規模な補修などが必要

水の販売は国内での競争が激化し、赤字が続いています。施設も老朽化し、これからの在り方を考えていかなければなりません。

中国産菌床シタケの猛威

岩泉きのこ産業は、中国産菌床の国内流通により、価格が下落していますが、雇用を守る対策が急務です。



梶田 信枝さん (岩泉・41歳)

まちの声

息子が岩泉高校に入学することになり、給食と弁当どちらにするか悩みました。働いている私にとって、経済面や時間にゆとりが持てるので、給食を選択しました。



坂根 涼雅さん (小川・16歳)

まちの声

1年間、毎日弁当を作ってもらっていましたが。親の負担が減るのでいいと思います。給食だと好き嫌いを言えないし量も自分で決められないので、ちょっと気になります。

畜産酪農家への支援拡充を

R元年6月議員と語る会 若手畜産酪農家との語る会で、省力化に向けた施設整備へのかさ上げ補助の提言を受ける。

R元年12月施策要望 畜産酪農家への省力化に向けた施設整備へのかさ上げ補助を議会から町に要望。

R2年3月定例会 畜産酪農家が国庫補助を受けて、労働力負担を軽減する機械装置などを導入する場合、その経費の10%をかさ上げ補助することに決定。

R元年9月請願 省力化に向けた施設整備などへのかさ上げ補助と町独自のヘルパー制度の確立に対する請願を採択。



山屋 祐太さん (小川・26歳)

まちの声

今年の秋ごろに事業継承し酪農を始めます。規模拡大を視野に入れているので、機械導入の補助は助かります。一次産業の振興は町に欠かせないものと思っています。

議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。(全日程はQRコードで)



- 1月 5日 各地区新年交賀会 (11日まで) 9日 広報広聴常任委員会 (役場) 19日 消防団消防出初式 23日 議会運営委員会 (役場) 第1回臨時会 (役場) 議会全員協議会 (役場) 議員定数等調査検討特別委員会 (役場) 総務常任委員会 (役場) 産業常任委員会 (町内) 30日 総務常任委員会所管事務調査 (岩手町) 2月 2日 子育て世帯との議員と語る会 (保健センター)

- 3月 3日 一般質問 (議会議事堂：4日まで) 4日 議会全員協議会 (役場) 5日 新年度予算審査特別委員会 (役場：10日まで) 9日 広報広聴常任委員会 (役場) 10日 議会運営委員会 (役場) 議員会議 (役場) 11日 東日本大震災津波記念碑除幕式 (小本) 30日 広報広聴常任委員会 (役場) 31日 辞令交付式 (役場)

# シリーズ 私の復興 Part-1

本町は、東日本大震災や台風災害などによって、多くの住宅や公共施設が被災しました。

この間、町民みんなで力を合わせて復旧・復興に取り組んできました。災害公営住宅の入居や個々の住宅の補修や建設も進み、着実に復興の道を歩んでいます。

今号からシリーズ「私の復興」として、町民の皆さんの声をお伝えしていきます。



下屋敷 榮さん  
(安家・85歳)

台風10号の被災当初は、千葉県に住む息子の所への転居も考えました。  
年齢を考えると環境の変化に対応するには無理があると思い、息子の協力を得て、一戸建ての住宅を新築しました。  
今でもこれで良かったのかと悩むこともあります。



上館 健志さん  
(小川・48歳)

今月、住宅が完成予定です。「やっとここまで来たなあ」と家族で話しをしています。  
新居に引っ越すのは楽しみですが、仮設住宅にはまだ数家族が暮らしています。みんながここから出ることができてこそ、復旧復興だと思っています。

仮設住宅には、3年ちょっと住みました。  
寝られる広さでいいと思った住宅ですが、欲張らず無駄のない間取りに苦労してようやくカタチになりました。  
ほっとするより、これからまた頑張らなくてはという思いです。



菅原 亮子さん  
(岩泉・67歳)

## 町村議会広報コンクール

### 全国10位・県2位



全国町村議会議長会

いわいずみ議会だより第186号(31年4月発行)が元年度全国町村議会広報コンクールで、274町村の応募の中から第10位となる優良賞を受賞しました。全国コンクールでの入賞は6年ぶりです。

県町村議会広報コンクールでは、第188号(元年10月発行)が昨年に引き続き、第2位となる入選1席を受賞しました。

審査員からは、町民の皆さんからの意見を聴いて掲載している「まちの声」や「議員と語る会」などの活動

が評価されました。日頃の皆さんのご理解とご協力のおかげで受賞することができました。今後多くの人に読んでもらえる議会だよりを目指し努力していきます。



全国10位の186号

### 議会を傍聴しませんか

次の定例会は、  
6月4日(木) 一般質問  
5日(金) 一般質問  
9日(火) 条例補正予算審査・本会議  
の予定です。  
※都合により変更となる場合があります。



議会だより

### 編集後記

▽3月定例会は史上最多の11人が一般質問に登壇しました。2年度は中居町政の折り返し。新しい総合計画の推進や復興後を見据えた振興施策など訴えていきます

▽議会だよりが全国で第10位に入りました。これにござらず、より町民に親しまれ、読まれる広報づくりを心がけていきます

▽世界で猛威を振るう新型コロナウイルスの影響で、節目の閉校式、卒業式や入学式などが縮小して実施となりました。1日も早い終息をただただ願っています。

広報広聴常任委員  
畠山 和英

### 広報広聴常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 八重樫龍介 |
| 副委員長 | 小松ひとみ |
| 委員   | 野館 泰喜 |
|      | 三田地久志 |
|      | 畠山 和英 |
|      | 畠山 昌典 |



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む若手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。